

エコアクション21 環境経営レポート

(第14回)

(期間 令和 4年 10月～令和 5年 9月)



発行日 令和 5年 12月 14日

ノヴィルパブリックワークス株式会社

環境経営方針

基本理念

ノヴィルパブリックワークス株式会社は、建設工事業として鋼構造物の製造および据え付けを通じ文化的・経済的・社会的価値創造に貢献できる企業を形成し、地域社会のみならず地球規模の観点に立ち、全組織をあげて環境負荷の低減に努力します。

方針

当社は事業活動が与える環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、環境経営活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を常に認識し、自主的・積極的に環境への取り組みと継続的な環境負荷の削減を図ります。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連の法令、徳島県条例、市条例等を遵守します
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量(電力使用量・燃料使用量)の削減
- ② 廃棄物(一般廃棄物・産業廃棄物)の削減及びリサイクルの推進
- ③ 水資源使用量の削減
- ④ 化学物質使用量の把握
- ⑤ 環境配慮型事業(材料ロスの低減・県内産材料の使用)の推進

4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のため、環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日 令和元年10月1日

ノヴィルパブリックワークス株式会社

代表取締役

久岡 征司

□会社概要

(1)名称及び代表者名

ノヴィルパブリックワークス株式会社

代表取締役 久岡 征司

(2)所在地

本 社(登記上)

徳島市沖浜東3丁目15番地

阿南事業所(事務所・倉庫・工場)

阿南市津乃峰町新浜72番地15

ノヴィルグループ エンジニアリングセンター

徳島市問屋町64

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 マネジャー 下野 和久

TEL:0884-27-3111 FAX:0884-27-2166

担当者 経営サポート部

米川 義繁

E-メール:info@novil-pw.co.jp

(4)事業活動

鋼構造物製造業、鋼構造物工事業、土木工事業、水道施設工事業

(5)事業内容

鋼構造物製造業 主要製品:橋梁、水門、鉄骨

鋼構造物工事業 主要製品:橋梁架設、水門据付、各補修工事等

(6)事業の規模

売上額 9億円/年

主要製品生産量 551トン/年

従業員 39名

建物延べ床面積 7,397㎡

	本社(登記上)	阿南事業所
従業員	0名	39名
延べ床面積(㎡)		7,397㎡

(7)会社沿革

昭和4年4月	徳島市助任で可原工業所として発足
昭和25年2月	商号を可原工業(株)に変更、橋梁製作・鉄骨製作・総合土木建築を開始
昭和45年1月	小松島市金磯町、徳島県鉄鋼団地内に新工場(小松島工場)を建設移転操業開始
昭和60年7月	本社を徳島市沖浜東3丁目15番地に移すと共に商号をオーエム工業(株)に変更
平成4年4月	阿南市津乃峰町、大湊新浜工業団地内に新工場(阿南工場)を建設操業開始
平成5年3月	大阪市中央区南本町、大阪支店開設
平成21年7月	商号をノヴィルパブリックワークス(株)に変更と共に主たる営業所を阿南市に移す
平成21年9月	小松島工場を閉鎖、ノヴィル(株)(親会社)へ売却
平成22年9月	資本金の減資(資本金20,000万円)
平成23年7月	大阪支店を閉鎖
令和3年10月	エンジニアリングセンターへ一部移転

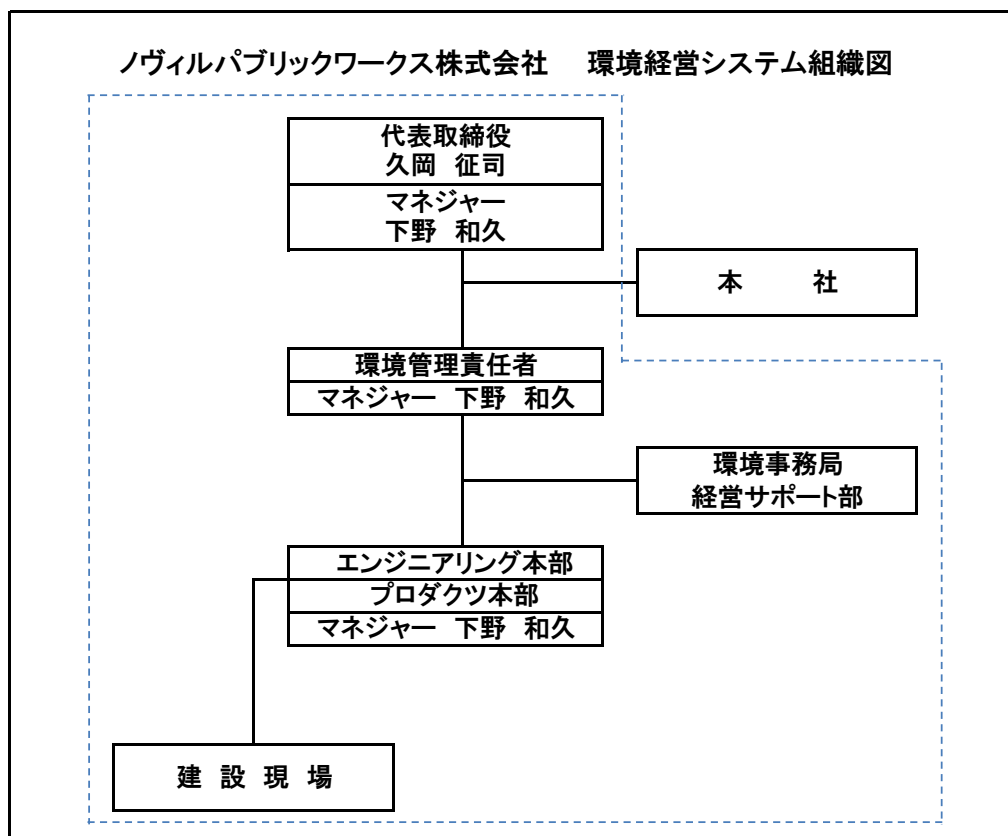
□認証・登録の対象組織・活動

(1)対象組織

ノヴィルパブリックワークス(株)
本社・阿南事業所

(2)活動の範囲

建設業(鋼構造物製造業、鋼構造物工事、土木工事、水道施設工事)
製造・据付等、全活動を対象としている。



社長 代表代行 (マネジャー) 下野 和久	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境経営活動実施計画書を承認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境経営目標・環境経営活動実施計画書原案の作成 ・環境経営活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

口環境経営目標

単年度及び中期(3年)の環境経営目標

項 目	2020年度 2019年10月～ 2020年9月	2021年度 2020年10月～ 2021年9月	2022年度 2021年10月～ 2022年9月	2023年度 2022年10月～2023年9月	
	基準値	目 標	目 標	目 標	実績
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	197,669	197,274	196,878	196,483	230,924
電力使用量 (kWh/年)	216,351	215,918	215,486	215,053	269,906
燃料使用量	ガソリン (L/年)	20,692	20,651	20,609	23,542
	軽油 (L/年)	7,968	7,952	7,936	4,846
廃棄物	一般廃棄物 (t/年)	3.3	3.24	3.24	3.00
	産業廃棄物 (t/年)	44.51	44.42	44.33	47.44
水使用量(投入量) (m3/年)	400	399	398	397	451
化学物質使用量の把握 (回/年)	4	4	4	4	4
環境配慮の推進 (回/年)	2	2	2	2	2

【備考】 環境目標設定の説明

- (1)2021年度以降は年0.2%を削減目標とする
(2)2020年度 環境目標二酸化炭素排出係数:0.574(四国電力調整後排出係数)

口1年間の実績と原因及び対策 (期間 令和4年10月～令和5年9月)

項目		原因と対策
二酸化炭素排出量		(原因) 工場での設備稼働増加や現場遠隔地のためガソリン使用増 (対策) エコドライブやこまめな燃料節約を進めていきたい
電力使用量		(原因) 工場での設備稼働が多かったため (対策) 可能な範囲で節電を呼びかけていきたい
燃料使用量	ガソリン	(原因) 遠隔地での現場や営業で車を利用することが多かった為 (対策) エコドライブの推進
	軽油	(原因) ディーゼル車の使用や自家発電機の使用が少なかったため (対策) こまめな燃料節約を進めていきたい
廃棄物	一般廃棄物	(原因) 従業員数もあり変わらず、業務も従来通りのため (対策) 引き続き目標達成に向けて廃棄物の削減に努めていきたい
	産業廃棄物	(原因) ハツリ・撤去を伴う仕事内容の受注が多かったため (対策) 工事発生はやむをえない マニフェストの発行を遵守していく
水使用量		(原因) 工場ではずみ取り等水使用量が増えたため (対策) 節水を呼びかけていく
化学物質使用量の把握		(原因) メーカーからSDSの資料、現場監督からの情報収集を行った (対策) 今後も塗料等に含まれる化学物質使用量の把握を継続
環境配慮の推進		(原因) ソフトを駆使し可能な限り材料ロスの低減を行った (対策) 引き続き、材料ロスの低減に努めていきたい

次年度からの中期3ヶ年環境経営目標

項 目	2023年度 2022年10月～ 2023年9月	2024年度 2023年10月～ 2024年9月	2025年度 2024年10月～ 2025年9月	2026年度 2025年10月～ 2026年9月
	基準値	目 標	目 標	目 標
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	230,924	230,462	230,001	229,541
電力使用量 (kWh/年)	269,906	269,366	268,827	268,290
燃料使用量	ガソリン (L/年)	23,542	23,495	23,448
	軽油 (L/年)	4,846	4,836	4,827
廃棄物	一般廃棄物 (t/年)	3.00	2.99	2.99
	産業廃棄物 (t/年)	47.44	47.35	47.25
水使用量(投入量) (m3/年)	451	450	449	448
化学物質使用量の把握 (回/年)	4	4	4	4
環境配慮の推進 (回/年)	2	2	2	2

【備考】 環境目標設定の説明

- (1)2023年度以降は年0.2%を削減目標とする
(2)2023年度 環境目標二酸化炭素排出係数:0.461(四国電力調整後排出係数)

2023年度環境経営活動計画/実施記録
(実施・評価・指示: 2022年10月～2023年9月)

(事務所)工場・倉庫・エンジニアリングセンターを含む

作成日: 令和5年10月3日

重点テーマ	具体的項目	達成状況(月)				評価・指示
		12	3	6	9	
①二酸化炭素排出量の削減 (電力使用量、燃料使用量)	空調の適温化(夏28℃ 冬20℃)	○	○	○	○	事務所は昼休みに消灯、ブラインドの有効利用を行った。節電やエコドライブは、タイムレコーダーへメッセージを時折掲載し啓蒙活動を行っている
	機械の空転防止	○	○	○	○	
	車輛の運行管理	○	○	○	○	
	エコドライブの推進	○	○	○	○	
	節約啓発シールを貼る	○	○	○	○	
②水資源使用量の削減	節水シールを貼る	○	○	○	○	蛇口の近くへ節水シールを貼って意識向上を図っている
③廃棄物の削減及び リサイクルの推進	分別排出・選別の徹底	○	○	○	○	段ボールや空き缶などリサイクルできるものは行い循環型社会へ寄与するように努めている
	コピー用紙の両面コピー、裏紙使用	○	○	○	○	
④環境配慮の推進	材料ロスを低減して製作する	—	—	○	○	ソフトを駆使し材料ロスの少ない製作活動としている
⑤化学物質使用量の把握	SDS等の情報収集を行う	○	○	○	○	工場での塗装などは、ほぼないので現場の塗料使用量等から使用量把握を行っている

達成状況 ◎十分できている ○ほぼできている △まだ不十分 ×できていない

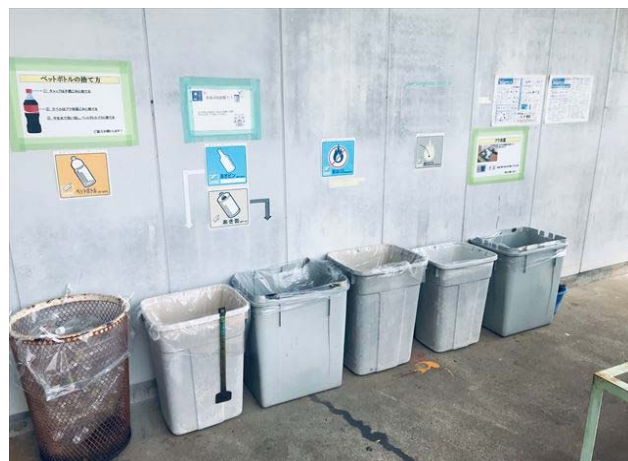
(現場)

重点テーマ	具体的項目	達成状況(月)				評価・指示
		12	3	6	9	
①二酸化炭素排出量の削減 (電力使用量、燃料使用量)	空調の適温化(夏28℃ 冬20℃)	○	○	○	○	安全訓練時に安全面からもエコドライブの推奨をに説明した 無理のない節電を呼びかけている
	機械の空転防止	○	○	○	○	
	車輛の運行管理	○	○	○	○	
	エコドライブの推進	○	○	○	○	
	節約啓発シールを貼る	○	○	○	○	
②水使用量の削減	事務所へ環境経営方針の掲示	○	○	○	○	現場事務所には水道設備がほとんどない状態環境経営方針を掲示し、意識向上を図る
③廃棄物の削減及び リサイクルの推進	分別排出・選別の徹底	○	○	○	○	産業廃棄物は、マニフェストに沿って手続きを行ったまた、県への年度報告も行っている
	コピー用紙の両面コピー、裏紙使用	○	○	○	○	
④環境配慮の推進	材料ロスを低減して製作する	—	—	○	○	なるべく材料ロスのない工事を現場で工夫している
⑤化学物質使用量の把握	SDS等の情報収集を行う	○	○	○	○	現場の都合があるので不定期ではあるが、情報収集を行い化学物質使用量の把握に努めている

☆電力使用量



☆一般廃棄物



☆節水推進活動



☆節電・省エネ活動



口環境関連法規・条例等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 主な環境関連法規その他規制事項の概要

※この1年間該当しなかった場合は該当なしと記載

環境法規制等の名称	要求事項	遵守状況の確認	判定
廃棄物処理法	委託契約の締結	確認	○
	マニフェストの交付	遵守	
	廃棄物保管場所設置看板表示	遵守	
リサイクル法	再資源利用計画書・実施書の作成	遵守	○
	再資源利用促進計画書・実施書の作成		
再資源利用省令	再資源利用計画書・実施書の作成	遵守	○
	再資源利用促進計画書・実施書の作成		
指定副産物利用 促進省令	再資源利用計画書・実施書の作成	遵守	○
	再資源利用促進計画書・実施書の作成		
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書作成 知事への届出書	書類の確認	○
容器包装リサイクル法	市町村が定めた分別の基準に従い 容器包装廃棄物も適正に分別排出する	遵守	○
家電リサイクル法	小売店へ料金を支払い引き渡す又は 自治体指定の方法で引取り依頼する	該当なし	—
建設廃棄物処理マニュアル	収集運搬業者、処分業者の許可証確認 中間処理場、最終処分場の確認	確認	○
建設副産物適応処理推進要綱	「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成 ・実施状況の記録	書類の確認	○
自動車Nox・PM法	自動車検査証確認記録	確認	○
	自動車NOx・PM法ステッカー制度		
オフロード法	適合証明・平成18年4月施行前販売証明 2011年規制	遵守	○
フロン排出抑制法	「事前確認書」交付年月日・元請業者名等 ・発注社名等・機器設置有無の確認結果	遵守	○
排出ガス対策型 建設機械 普及 促進規定	排出ガス対策型であることの確認	確認	○
騒音規制法	市町村へ事前確認 届出書(規則様式第9、但し条例等上乘せ規定有り)	該当なし	—
振動規制法	市町村へ事前確認 届出書(規則様式第9、但し条例等上乘せ規定有り)	該当なし	—
浄化槽法	設置の届出 法定11条検査、定期検査 使用廃止後30日以内の届出	遵守	○
消防法	少量危険物の貯蔵・取扱管理記録 あらかじめ所轄消防長又は消防署長に届出	遵守	○
高圧ガス保安法	危険時の措置と届出	遵守	○
徳島県生活環境保全条例	何人もみだりにごみを捨ててはならない	遵守	○
徳島県脱炭素社会の実現に向け た気候変動対策推進条例	エコドライブの推進等 気候変動対策の推進に関する事業者の責務	書類の確認	○
化学物質排出把握管理促進法	事業者による化学物質の排出量等の把握	遵守	○
阿南市環境基本条例	事業者の責務・・・自然環境との調和に配慮し その責任と負担に於いて必要な措置を講じる	遵守	○

2) 違反、訴訟等有無

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

訴訟等も同様に1件もありませんでした。

□代表者による全体評価と見直しの結果

見直しに必要な情報									
管理責任者の報告及び改善への提案									
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規等の遵守状況 ・苦情・訴訟なし ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・目標にしていた二酸化炭素排出量(電力使用量・燃料使用量)については達成できなかった。工場での製作工事が増えたことや遠隔での工事が多く燃料費が増加したことが原因。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 ・脱炭素や地球温暖化に関する動画を見てもらい、意識向上に努めた。 <改善への提案> ・様々な機会で、エコアクションに関わる情報を積極的に伝えていきたい									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>見直しの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境経営方針</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>環境経営目標・計画</td> <td>目標値変更への検討の余地あり</td> </tr> <tr> <td>実施体制等</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		見直しの有無	環境経営方針	なし	環境経営目標・計画	目標値変更への検討の余地あり	実施体制等	なし
	見直しの有無								
環境経営方針	なし								
環境経営目標・計画	目標値変更への検討の余地あり								
実施体制等	なし								

[目標・環境経営活動計画の達成状況]

<事務所>工場含む

目標項目	達成率	実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
①二酸化炭素排出量 の削減	△	○	・目標は達成できなかった ・エコドライブやこまめな節電を継続
②水資源使用量の削減	△	○	・目標は達成できなかった ・節水意識の向上に努める。
③廃棄物の削減及びリサイクルの推進	○	○	・目標は達成できた(一般廃棄物) ・裏紙使用推進によって紙使用量削減。
④環境配慮の推進	○	○	・目標は達成できた ・今後共材料低減化に向けた意識向上を図る
⑤化学物質使用量の把握	—	—	・大部分が現場で使用する補修のための樹脂材や塗料に含有される

<建設現場>

目標項目	達成率	実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
①二酸化炭素排出量 の削減	△	○	・目標は達成できなかった ・エコドライブ等を継続
②水資源使用量の削減	—	—	・現場事務所のため、水道施設がない
③廃棄物の削減及びリサイクルの推進	△	○	・目標は達成できなかった(産業廃棄物) ・分別徹底を推進していく
④環境配慮の推進	○	○	・県工事については、仕様に従った ・今後も継続していく
⑤化学物質使用量の把握	○	○	・目標は達成できた ・今後も情報収集に努める

達成率 ○:100%以上、△:80%~100未満、×:80%未満

実施状況 ◎:十分できている、○:ほぼできている、△:まだ不十分、×:できていない

<改善への提案>

・省エネを促しつつ、目標値を変更することを検討する必要がある

[周囲の変化の状況]

①今までと同様に防災や国土強靱化の政策に伴う工事が主になるとされる。

②環境関連法規制等の動向・・・特になし

<改善への提案>

・地道に節約を継続することにより、無理のないエコ活動の習慣化を目指す

[代表者による総括]

各国が地球規模で温暖化対策に取り組んでいる。先進的な技術を取り入れてCO2抑制を図ることも大切だが、個々の意識を向上させ全体的に底上げをしていくことが肝要だ。
なるべくエコアクション活動を業務の中に取り入れて、多くの社員に自然と活動に参加していく体制を整えていきたい。